

令和5年度 芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校生の美術 1（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

1. 美術を学ぶ上で大切な、色彩感覚、イメージの展開力を身につける。
2. 素材を活かし、作品作りの楽しさを学ぶ。
3. 歴史の流れで作品を鑑賞し、現代の私たちとの関係を探る。

中学美術流れも考慮する。写実的に表現できずに、苦手意識をもつ生徒が多い。

技術のみに偏らない幅広い美術の知識・感性を磨くことで、自由な発想をもって制作させる必要がある。

2 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、美的体験を通して感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに色彩や素描などの基礎的技術について学ぶ。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	色彩の基礎	<p>【デザイン】 《オリエンテーション》 美術、デザインの分野の理解。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美術」の授業の説明 デザインセットの道具の使用 方法の説明をする。 ・無彩色、有彩色、色の三要素 などを理解する。 ・混合、対比、補色など色同士の 関係を知る。 ・12色相環をスケッチに描く。 	<p>a: 色を美しく丁寧に塗る事ができる。色彩の工夫がある。</p> <p>b: 課題内容を把握し、作品をより良くする為の工夫をしている。</p> <p>c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。</p>	<p>スケッチブック</p> <p>作品</p> <p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p>	<p>スケッチブック</p> <p>作品</p> <p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作の様子</p>
	四季のイメージ	<p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩基礎 ・色彩構成 <p>四季それぞれのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。</p>	<p>a: アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。</p> <p>b: 条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。</p> <p>c: 四季のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。</p>	<p>制作途中の作品</p> <p>制作の様子</p> <p>完成作品</p>	<p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p> <p>完成作品</p>	<p>制作途中の作品</p> <p>制作の様子</p>

※令和4年度以降入学生用

	ポスタリゼーション	<p>【デザイン】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙袋の鑑賞 パネルの水張り ポスタリゼーション <p>色と形で自分の好きなこと、ものをデザインする。下書きをする(直線や図形による画面分割)色見本カードでイメージにあう色を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ <p>スケッチブックにアイデアをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチの相互鑑賞(班) 制作 <p>アクリルガッシュを用いて、面相筆と平筆を使い分けながら着色し、制作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相互鑑賞・プレゼンテーション(全体) 	<p>a: 目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。</p> <p>b: アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを、下描きやワークシートを通し、自分の発想や構想をまとめている。作品をより良くする為の工夫をしている。</p> <p>c: 生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 完成作品	アイディアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート	アイディアスケッチ 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
2学期	木工用品をつくらう	<p>【塑像・彫刻】</p> <ul style="list-style-type: none"> デッサン <p>アイデアをデザインに取り入れ工夫する。</p> <p>形の他にも動きや、機能性がきちんと考えられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作 <p>型紙を作り木材を裁断する。</p> <p>形の他にも動きや、機能性がきちんと考えられている。</p> <p>面取り、ヤスリがけでなめらかにする。</p> <p>蜜蝋ワックスでつやを出す。</p> <p>お互いの作品の鑑賞をする。</p>	<p>a: 木材の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。</p> <p>b: 形態など活かし表現方法を工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	デッサン 制作途中の作品 完成作品	デッサン 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 鑑賞ワークシート	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート

※令和4年度以降入学生用

	<p>パッケージデザイン</p>	<p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ スケッチブックにアイデアをまとめる。 ・アイデアスケッチの相互鑑賞(班) ・制作 イメージにあう色紙を選ぶ。 コラージュ技法を使い表現する。 ・ペーパーナイフ、パッケージ作品、相互鑑賞 プレゼンテーション 	<p>a: 木材、色画用紙の特性を活かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。</p> <p>b: 条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。計画を立てて文章表現ができている。自分の意見を伝えられる。</p> <p>c: 色彩のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。想像力を働かせて、作品をより良く見せる為の工夫をしている。技法、素材の特性を理解し、自分の考えをまとめている。</p>	<p>アイデアスケッチ</p> <p>制作途中の作品</p> <p>完成作品</p>	<p>アイデアスケッチ</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>完成作品</p>	<p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p>
<p>3学期</p>	<p>美術鑑賞(日本美術)</p>	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財鑑賞。狩野永徳・長谷川等伯(安土・桃山時代に活躍した作家を中心に) ・参考作品の模写を制作する。 	<p>a: 作品の模写を通して作者が用いた技法について学ぶ。</p> <p>b: 作品の観察から得た作者の技術を如何にして再現するかを考えながら模写をする。</p> <p>c: 美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p> <p>完成作品</p>	<p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>制作の様子</p> <p>完成作品</p>	<p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>制作の様子</p>

※令和4年度以降入学生用

	風景画を描いてみよう	<p>【絵画】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風景の資料をもとに様々な画材を使いながら制作する。 ・資料と構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 ・お互いの作品の鑑賞をする。 	<p>a: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。</p> <p>b: テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>アイディアスケッチ</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>完成作品</p>	<p>ワークシート</p> <p>アイディアスケッチ</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞活動の様子や発言内容</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>完成作品</p>	<p>制作の様子</p> <p>鑑賞活動の様子や発言内容</p> <p>鑑賞ワークシート</p>
--	------------	---	--	--	--	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度